



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年2月2日

上場会社名 株式会社シーユーシー 上場取引所 東
コード番号 9158 URL <https://www.cuc-jpn.com>
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）濱口 慶太
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経営企画本部長 （氏名）大橋 悠介 TEL 03 (5005) 0808
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	40,170	16.2	3,181	△30.5	2,699	△40.5	1,371	△49.6	1,433	△48.3	1,781	△25.9
2025年3月期第3四半期	34,562	47.9	4,576	74.6	4,536	86.5	2,722	82.8	2,770	84.7	2,404	92.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	48.87	48.87
2025年3月期第3四半期	94.50	94.50

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	95,984	32,194	31,586	32.9
2025年3月期	85,167	30,286	29,678	34.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	58,250	23.8	5,500	2.9	5,000	△4.7	2,880	△6.4	2,880	△8.0
										98.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	29,990,400株	2025年3月期	29,990,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	675,091株	2025年3月期	675,091株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	29,315,309株	2025年3月期3Q	29,315,328株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通しの等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループのミッション（使命）は「医療という希望を創る。」です。このミッションに基づき、当社グループは、患者に向けては「患者視点の医療をひとりでも多くの方へ提供できる環境を創る。」、医療機関に向けては「地域に求められ、働きがいのある職場環境を創る。」、そして社会に向けては「医療課題の解決によって健全で持続可能な社会を創る。」ことを目指して様々なサービスを展開しています。

医療機関セグメントでは、国内においては病院、訪問診療クリニック、透析クリニック、外来クリニック等を運営する医療機関に対して経営支援サービス（経営戦略策定・経営管理支援、マーケティング支援、IT・経理・総務等支援、人事・採用機能支援等）に加えて、M&A・PMI支援、新規クリニック開設支援、病床転換支援等のプロジェクト受注）を提供し、海外においては、米国では足病及び下肢静脈疾患クリニックの運営等、東南アジアでは医療機関に対する経営支援等を行っています。

ホスピスセグメントでは、ホスピス型住宅の入居者に提供するサービスの質を最重要視した上で、既存のホスピス型住宅の入居者増加に加え、看取り機能が脆弱な地域を中心にホスピス型住宅の新規展開を加速し、より多くの医療依存度の高い（がん末期、神経難病等を患う）入居者向けに訪問看護及び訪問介護を提供しています。

居宅訪問看護セグメントでは、利用者に提供するサービスの質を最重要視した上で、既存の訪問看護ステーションの利用者拡大に加え、新規エリアへの訪問看護ステーションの新規開設を行い、居宅の利用者向けに訪問看護を提供しています。

メディカルケアレジデンスセグメントでは、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅及びリハビリ強化型デイサービスの運営や施設入居者への定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを展開しています。今後は、既存施設の稼働率改善、介護需要が高い地域への新規開設を行いながら、より医療依存度、要介護度が高い入居者（要介護度3-4程度の方）の受け入れを推進していきます。

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。なお、「メディカルケアレジデンス」は前第3四半期連結会計期間より新たに報告セグメントとして追加したため、前年同期比で著しい変動が生じています。

なお、EBITDAの計算式は次のとおりです。

EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

（当第3四半期連結累計期間の業績）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）	比較増減	
売上収益	34,562	40,170	+5,608	+16.2%
営業利益	4,576	3,181	△1,394	△30.5%
税引前四半期利益	4,536	2,699	△1,837	△40.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,770	1,433	△1,338	△48.3%
EBITDA	6,603	6,129	△474	△7.2%

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

		前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	比較増減	
医療機関	セグメント売上 収益	13,425	12,646	△778	△5.8%
	セグメント利益	2,992	2,424	△568	△19.0%
	EBITDA	3,812	2,861	△952	△25.0%
ホスピス	セグメント売上 収益	10,215	12,282	+2,067	+20.2%
	セグメント利益	1,054	523	△530	△50.3%
	EBITDA	1,759	1,526	△233	△13.2%
居宅訪問看護	セグメント売上 収益	9,254	9,775	+522	+5.6%
	セグメント利益	993	1,103	+110	+11.1%
	EBITDA	1,345	1,399	+54	+4.0%
メディカルケ アレジデンス	セグメント売上 収益	1,798	5,732	+3,934	+218.8%
	セグメント利益 又は損失(△)	116	△149	△265	—
	EBITDA	312	1,046	+734	+235.3%
その他	セグメント売上 収益	102	71	△31	△30.2%
	セグメント利益 又は損失(△)	56	△16	△72	—
	EBITDA	10	△12	△22	—
調整額	セグメント売上 収益	△231	△336	△105	—
	セグメント利益	△635	△703	△68	—
合計	セグメント売上 収益	34,562	40,170	+5,608	+16.2%
	セグメント利益	4,576	3,181	△1,394	△30.5%
	EBITDA	6,603	6,129	△474	△7.2%

① 医療機関セグメント

国内においては、支援先主要拠点数が堅調に増加した一方、一部の支援先医療機関における収益性悪化を受けて上期中の月額報酬を一時的に減額したことに加えて、前第1四半期にM&A支援報酬が集中したことの反動減もあり、売上収益が減少しました。なお、月額報酬については、支援先医療機関の業績改善に伴い、当第3四半期連結会計期間より割引水準を段階的に適正化しており、当該水準は下期にかけて継続する見込みです。一方で、当第3四半期連結累計期間においては、上期の減額影響を相殺するに至っておりません。海外においては、米国足病領域におけるロールアップ型M&Aにより事業規模が拡大した一方で、収益体質の改善に向けて戦略的に不採算拠点の整理等を進めたことや、前年度における過去の営業債権の回収に係る一過性の売上計上の反動減により、売上収益は前年同期比で微減となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上収益は12,646百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は2,424百万円（前年同期比19.0%減）、EBITDAは2,861百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

② ホスピスセグメント

新規施設の立ち上げが計画通り進捗したことに加えて、既存施設の稼働率が向上したことにより、当第3四半期連結累計期間における売上収益は12,282百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

セグメント利益及びEBITDAについては、新規施設の立ち上げ期の初期赤字及び一部の既存施設の単価が減少したこと等によりセグメント利益は523百万円（前年同期比50.3%減）、EBITDAは1,526百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

③ 居宅訪問看護セグメント

利用者数が増加したことに伴い、当第3四半期連結累計期間ののべ総ケア時間（注）は962千時間（前年同期比4.4%増）となり、当セグメントの売上収益は9,775百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

セグメント利益及びEBITDAについては、ステーションの新規開設に伴う初期費用が発生したものの、利用者数の増加により、セグメント利益は1,103百万円（前年同期比11.1%増）、EBITDAは1,399百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

（注）当セグメントの看護師及びセラピストが利用者に居宅訪問看護サービスを提供した時間の合計。セラピストは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の総称。

④ メディカルケアレジデンスセグメント

前第3四半期連結会計期間において、札幌市において住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅を運営する株式会社ノアコンツェルの発行済株式のすべてを取得し、連結子会社化しました。ホスピスフロア化に向けた改修に伴う入居抑制があった一方、服薬支援システム「服やっくん」の販売数が堅調に拡大したことに加えて、訪問看護に係る診療報酬収入の増加により、売上収益は5,732百万円（前年同期比218.8%増）、セグメント損失は149百万円（前第3四半期連結累計期間のセグメント利益は116百万円）、EBITDAは1,046百万円（前年同期比235.3%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上収益は40,170百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は3,181百万円（前年同期比30.5%減）、EBITDAは6,129百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

また、前連結会計年度に発生した米国子会社への貸付の回収に係る為替差益が360百万円剥落したこと等により、税引前四半期利益は2,699百万円（前年同期比40.5%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,433百万円（前年同期比48.3%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び資本の状況）

資産合計は、前連結会計年度末比10,817百万円増の95,984百万円となりました。流動資産については、前連結会計年度末比7,175百万円増の27,696百万円となりました。これは主に、国内のホスピス建設資金の補充に加え、海外クリニック等買収資金及び海外事業資金の補充を目的として長期借入金の借り入れを行ったことにより、現金及び現金同等物が5,736百万円増加したことによるものです。非流動資産については、前連結会計年度末比3,641百万円増の68,288百万円となりました。これは主に、ホスピス型住宅の増加に伴い有形固定資産が3,824百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末比8,909百万円増の63,790百万円となりました。これは主に、国内のホスピス建設資金の補充に加え、海外クリニック等買収資金及び海外事業資金の補充を目的として長期借入金の借り入れを行ったことにより、長期借入金が9,498百万円増加したこと及び、法人税の納付により、未払法人所得税が1,124百万円減少したことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末比1,908百万円増の32,194百万円となりました。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が1,433百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想については、2025年4月28日に「2025年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」で公表した内容から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,533	13,269
営業債権及びその他の債権	12,151	13,457
棚卸資産	160	110
その他の金融資産	94	103
その他の流動資産	582	757
流動資産合計	20,520	27,696
非流動資産		
有形固定資産	18,830	22,654
使用権資産	19,401	19,442
のれん	13,665	14,222
無形資産	4,306	4,148
投資不動産	4,327	3,801
繰延税金資産	893	959
その他の金融資産	3,167	2,995
その他の非流動資産	57	67
非流動資産合計	64,647	68,288
資産合計	85,167	95,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	4,314	4,134
借入金	2,812	3,397
リース負債	2,769	2,997
預り金	692	738
未払法人所得税	1,233	109
契約負債	3	12
その他の流動負債	1,622	1,869
流動負債合計	13,446	13,256
非流動負債		
借入金	20,653	29,565
リース負債	17,310	17,219
退職給付に係る負債	268	344
繰延税金負債	1,478	1,687
その他の金融負債	893	685
その他の非流動負債	833	1,034
非流動負債合計	41,435	50,534
負債合計	54,881	63,790
資本		
資本金	7,669	7,669
資本剰余金	7,820	7,818
利益剰余金	13,457	14,889
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	732	1,210
親会社の所有者に帰属する持分合計	29,678	31,586
非支配持分	608	608
資本合計	30,286	32,194
負債及び資本合計	85,167	95,984

（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
売上収益	34,562	40,170
売上原価	17,335	21,558
売上総利益	17,227	18,612
販売費及び一般管理費	12,823	16,061
その他の収益	264	678
その他の費用	92	48
営業利益	4,576	3,181
金融収益	339	43
金融費用	379	526
税引前四半期利益	4,536	2,699
法人所得税費用	1,814	1,328
四半期利益	2,722	1,371
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,770	1,433
非支配持分	△48	△61
四半期利益	2,722	1,371
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	94.50	48.87
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	94.50	48.87

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	2,722	1,371
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	△448	△165
純損益に振り替えられることのない項目合計	△448	△165
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	131	575
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	131	575
税引後その他の包括利益	△318	410
四半期包括利益	2,404	1,781
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,477	1,792
非支配持分	△72	△11
四半期包括利益	2,404	1,781

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	新株予約権
2024年4月1日残高	7,669	7,761	10,307	△0	589	80
四半期利益	—	—	2,770	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	155	—
四半期包括利益合計	—	—	2,770	—	155	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	7
株式に基づく報酬取引	—	59	—	—	—	40
子会社設立に伴う払込	—	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	59	—	△0	—	47
2024年12月31日残高	7,669	7,820	13,078	△0	744	127

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計			
2024年4月1日残高	909	1,578	27,316	689	28,005
四半期利益	—	—	2,770	△48	2,722
その他の包括利益	△448	△294	△294	△24	△318
四半期包括利益合計	△448	△294	2,477	△72	2,404
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
新株予約権の発行	—	7	7	—	7
株式に基づく報酬取引	—	40	99	—	99
子会社設立に伴う払込	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	34	34
所有者との取引額合計	—	47	106	34	140
2024年12月31日残高	460	1,331	29,898	651	30,549

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	新株予約権
2025年4月1日残高	7,669	7,820	13,457	△0	△35	172
四半期利益	—	—	1,433	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	524	—
四半期包括利益合計	—	—	1,433	—	524	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	△2	—	—	—	118
子会社設立に伴う払込	—	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△2	—	—	—	118
2025年12月31日残高	7,669	7,818	14,889	△0	489	291

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計			
2025年4月1日残高	595	732	29,678	608	30,286
四半期利益	—	—	1,433	△61	1,371
その他の包括利益	△165	359	359	50	410
四半期包括利益合計	△165	359	1,792	△11	1,781
自己株式の取得	—	—	—	—	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	118	116	—	116
子会社設立に伴う払込	—	—	—	22	22
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	△11	△11
非支配持分との取引	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	118	116	11	127
2025年12月31日残高	430	1,210	31,586	608	32,194

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費（無形資産に係る償却費を含む。）は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費及び償却費	2,199	3,577

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「医療機関」、「ホスピス」、「居宅訪問看護」及び「メディカルケアレジデンス」の4つを報告セグメントとしています。

「医療機関」は、国内においては経営戦略支援、経営管理支援、人事労務支援等を主な支援メニューとした医療機関に対する各種運営サポートを提供し、海外においては、米国では足病及び下肢静脈疾患クリニックの運営等、東南アジアでは医療機関に対する経営支援等を行っています。「ホスピス」は、ホスピス型住宅の入居者に訪問看護及び訪問介護サービスを提供、「居宅訪問看護」は、居宅の利用者に訪問看護サービスを提供しています。「メディカルケアレジデンス」は住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅及びリハビリ強化型デイサービスの運営や施設入居者への定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの運営を行っています。

（2）報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目は以下のとおりです。なお、報告セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいています。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四 半期連 結財務 諸表
	医療機 関	ホスピス	居宅訪 問看護	メデ ィカル ケア レジ デンス	計				
売上収益									
外部収益	13,194	10,215	9,254	1,798	34,460	102	34,562	—	34,562
セグメント間収益	231	—	—	—	231	—	231	△231	—
合計	13,425	10,215	9,254	1,798	34,691	102	34,792	△231	34,562
セグメント利益（注）3	2,992	1,054	993	116	5,155	56	5,211	△635	4,576
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	339
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	379
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	4,536
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	2,722
その他の項目									
減価償却費及び償却費	744	721	365	363	2,194	6	2,199	—	2,199

（注）1．その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局サービス、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス等を含んでいます。

2．調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△635百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3．セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四 半期連 結財務 諸表
	医療機 関	ホスピス	居宅訪 問看護	メディ カルケ アレジ デンス	計				
売上収益									
外部収益	12,316	12,282	9,769	5,732	40,099	71	40,170	—	40,170
セグメント間収益	330	—	6	—	336	—	336	△336	—
合計	12,646	12,282	9,775	5,732	40,435	71	40,506	△336	40,170
セグメント利益又は損失 (△) (注) 3	2,424	523	1,103	△149	3,901	△16	3,885	△703	3,181
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	43
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	526
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	2,699
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,371
その他の項目									
減価償却費及び償却費	870	1,073	387	1,242	3,572	5	3,577	—	3,577

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス、M&A仲介サービス等を含んでいます。

2. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△703百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。